

国立研究開発法人国立環境研究所
契約監視委員会（第18回）議事概要

1. 日時

令和2年1月22日（水）10：00～12：20

2. 場所

AP秋葉原 5階 Bルーム

3. 出席者（委員（敬称略、五十音順））

天野 玲子（国立研究開発法人国立環境研究所 監事）
加藤 暢一（国立研究開発法人国立環境研究所 監事）
西山 温（古賀総合法律事務所 弁護士）
野村 豊弘（日本エネルギー法研究所 理事長）
古米 弘明（東京大学大学院工学系研究科 教授）

4. 開会

議事に先立ち、立川理事から開会挨拶を行った。

5. 議題

- (1) 前回議事概要の確認について
- (2) 令和元年度上半期の随意契約の状況について（抽出審査2件）
- (3) 令和元年度上半期の一者応札・応募等事案のフォローアップについて（抽出審査2件）
- (4) その他

6. 議事

(1) 前回議事概要の確認について

事務局より資料に基づき説明が行われた。

(2) 令和元年度上半期の随意契約の状況について

平成31年4月1日から令和元年9月30日までに契約締結した案件のうち、随意契約案件（86件）について審議が行われた。なお、抽出案件2件については担当者へのヒアリングが行われた。

委員からの主な意見は以下のとおり。

○抽出審査1（令和元年度二酸化炭素連続測定装置（CME）と自動大気サンプリング装置（ASE）の機体搭載に向けた承認取得準備と試作品の設計及び製作）

➤ 指摘事項なし

○抽出審査2（平成31年度GOSATデータ処理運用システム維持改訂及びFTS解析アルゴリズム改良検討補助業務）

➤ 指摘事項なし

○書面審査

➤ 随意契約No5（デジタル道路地図～）は、唯一性の理由が「可能な限り正確で情報量が多いデータ」「全国をカバーする最新のデータ」となっているが、これがなぜ契約相手方の

唯一性につながるのかわかりにくい。

(→書きぶりについて検討する)

- 随意契約No7 (～四重極型質量分析システム) は、唯一性の理由がエンジニアという部分なのかつくば市においてという部分のどちらなのかわかりにくい。

(→書きぶりについて検討する)

- 随意契約No22 (～GOSAT-2プロジェクト支援業務) は、過去の参加者確認公募方式での応募がなかったことのみが理由となりうるのか。不十分ではないか。

(→書きぶりについて検討する。)

- 不承認とされた案件は入札に移行後、全て一者応札だったか。

(→全て一者応札であった。)

(4) 令和元年度上半期の一者応札・応募等事案のフォローアップについて

平成31年4月1日から令和元年9月30日までに契約締結した案件のうち、前年度(複数年契約を行っている案件については前回契約)に引き続き一者応札・応募となった案件(48件)について審議が行われた。なお、事前に抽出された2件については担当者へのヒアリングが行われた。

委員からの主な意見は以下のとおり。

○抽出審査1(令和元年度超微量農薬濃度分析業務)

- 指摘事項なし

○抽出審査2(国立環境研究所刊行物「環境儀」第74号～第77号の作成)

- 指摘事項なし

○その他意見

- 一者応札・応募の改善の取組の中で、予定価格の作成において客観的資料の収集のみにとどめず、これを「活用する」必要がある。

(→客観的資料の活用について検討する。その旨一者応札・応募案件フォローアップ票に追記する)

(5) その他

- ・次回の委員会は本年6月頃開催予定。その際の抽出審査案件については、西山委員に案件を抽出いただくことに決定した。

・最後に、事務局より、本委員会資料(一部)及び議事概要について、委員の確認及び承認後に国立環境研究所ホームページに公表することを報告した。

以上